

令和元年（2019年）11月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和元年12月6日（金）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	上原 安夫 (日本共産党) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 真和志支所の建て替えについて 3 生活保護について	(1) 那覇市は、昨年からICカードの導入で教職員の労働時間の把握を行って約1年。1カ月の残業時間が最も長い教職員は小中学校でそれぞれ何時間なのか、月45時間の残業上限と過労死ラインの80時間を超える教職員は、何名、何割なのか、教職員の勤務実態と市の見解を伺う (2) 教職員の長時間労働、多忙化の是正が課題になっている今、45分休憩の実態ときちんととれるように教育委員会の対応について伺う (3) 教職員の長時間労働、多忙化の是正のため、市独自の部活動指導員等、人的配置はできないか伺う (1) 那覇市民会館保存可能性検討委員会から答申が出た。答申の内容について伺う (2) 真和志支所の建て替え事業がいよいよ具体化されるが、取り組みを伺う (1) 本市の生活保護のしおりを本庁窓口だけでなく、首里、真和志、小禄各支所の窓口にも置いて、制度の広報、周知を図る必要がある。本市の対応を伺う (2) 那覇市は、就職・生活なんでも相談会を行っている。その概要と実績等について伺う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【答弁を求める者】 教育長、関係部長 </div>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>大浜 安史 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 首里城火災について</p> <p>2 教育行政について</p> <p>3 幼児教育無償化について</p>	<p>(1) 10月31日未明、首里城火災のニュースは、全国、世界に広がり、沖縄県民・市民に大きな衝撃と喪失感を与えており誇りと希望の象徴を失くし驚愕している。首里城再建への募金活動が大きく県内外に広がり多くの寄附金が届いている。本市の取り組み、県との連携及び総金額について伺う</p> <p>(2) 首里城再建に向け、国と県が責任を持って再建する事は重要であり、県民の願いである。首里城再建スケジュールについて伺う</p> <p>(1) 首里地域小中学校での首里城焼失に伴い、子どもたちへの精神的なケアは必要と思うが、募金活動等も含め伺う</p> <p>(2) ICT教育の環境整備は重要である。小学校(1年～6年)中学校(1年～3年)に全て電子黒板が設置され喜ばれている。9月定例会でも質疑をした小学6年生のTV型から大型電子黒板への取り替えについて再度伺う</p> <p>(3) 小中学校へのタブレット配置について伺う</p> <p>(4) 首里公民館の老朽化に伴い、市民の皆様から早目に建て替えする声があるが、首里公民館の大ホール舞台装置が古く、新しく整備について伺う</p> <p>令和元年10月より消費税10%値上げに伴い、幼児教育が無償化になり10月よりスタートして2カ月が経過している。取り組み状況と課題について伺う</p> <p>(1) 3歳児以上の給食費の無償化について</p> <p>(2) 保育士の処遇改善について</p> <p>(3) 保育士の新卒者の採用時の祝い金創設について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 伝統工芸行政について	<p>首里当蔵町、元住宅公社建物が解体中である。施政方針の中で琉球びんがた事業協同組合及び那覇伝統織物協同組合の拠点施設の整備に取り組むとあった。6月定例会では、本市が土地を取得し、両組合へ貸与、建物は両組合で建設することであった</p> <p>しかし、建物の建設は両組合では厳しいとのことである。国の沖縄振興特定事業推進費補助金にて対応すべきと考えるが、その点について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>宮里昇 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 福祉政策・高年齢者対策について</p> <p>2 加齢性難聴者の補聴器購入助成について</p>	<p>(1) 高齢化社会が急速に進行している。高齢者が孤立せず、地域社会とつながりを持って、暮らしていけるよう行政としての施策の拡充、地域・自治会等の声かけ、気配りが求められる 高齢者が健康で生き生きと暮らせるための基本的施策について伺う</p> <p>(2) モノレール利用の高齢者公共交通割引制度の利用実績を伺う</p> <p>(3) 第7次高齢者プランでは、高齢者の移動手段を確保するために、公共交通利用環境のサービス拡大について検討を行うとしているが、検討状況を伺う</p> <p>(4) モノレールの高齢者公共交通割引制度は、その沿線に居住していないとなかなかその恩恵は受けられない。広く高齢者の移動権を保障するには、年間を通じて全ての公共交通機関を利用できるシルバーパスが必要ではないか。見解を伺う</p> <p>加齢性難聴者は那覇市で約3万人。加齢性難聴は社会生活を困難にし、閉じこもりや認知症の要因になると言われている。高齢者の生活が困難になるなか、補聴器購入助成の必要性は高まっている 加齢性難聴者の補聴器購入助成をしている自治体について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 教育行政について</p> <p>4 公園行政について</p>	<p>(1) 安岡中学校屋内運動場等改築工事に伴う、運動用具や運動クラブ等の用具の仮置場について伺う</p> <p>(2) 屋内運動場等改築工事に伴い、内部保管している運動用具等を移動しなければならない。なぜ、エレベーターホールや特別支援学級の多目的教室に保管したのか伺う</p> <p>(1) 新都心公園「おきなわの杜」の整備状況と公園構想について伺う</p> <p>(2) 動植物の種類と特徴について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	金城 眞徳 (ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 消防行政について 2 文化行政について 3 道路行政について 4 教育行政について	小型消防自動車導入について 狭隘な道路の多い市内では機動的に使える軽自動車タイプの消防車は小回りが効き使い勝手があると思うが導入計画について伺う 新市民会館、「那覇文化芸術劇場なは一と」の作業工程の遅れはないか進捗状況を伺う モノレール事業で石嶺駅東側交通広場や西側交通広場など、今後の周辺工事の工程計画を伺う 去る10月に神戸市の市立小学校で教師間のいじめが明るみに出た。54小中学校を預かる教育委員会としてこの事件をどのように受けとめているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>仲松寛 (なは立志会)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	1 教育行政について	<p>(1) 特別支援学校「県立那覇みらい支援学校」について</p> <p>少子化が進展する今日、特別支援教育を必要とする幼児児童生徒が増加傾向にあり、特に那覇南部地区における知的障がい児童生徒の増加が顕著である。このような中で、那覇南部地区特別支援学校の過密化解消と那覇市在住児童生徒の市外特別支援学校への通学負担を軽減するため、現在、那覇市古波蔵に新たな特別支援学校の建設工事が着々と進んでいる。については、県立那覇みらい支援学校について伺う</p> <p>① 設置スケジュール、通学区域、設置教育部門、設置部、予定児童生徒数など、学校概要について伺う</p> <p>② 市内小中学校における特別支援学級数及び児童生徒数について伺う</p> <p>③ 保護者や関係者からスクールバス等での登下校の送迎を希望する声があがっているが那覇市として具体的にどのような通学支援を考えているか伺う</p> <p>(2) 教育現場における働き方改革について</p> <p>昨年、2月に文部科学省は、学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取り組みの徹底について各都道府県教育委員会教育長宛てに通知したが、これを受けて那覇市教育委員会としての対応について伺う</p> <p>① 那覇市教育委員会として、学校業務の役割分担・適正化、勤務時間等、業務改善に向けてどのような取り組みを行っているか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 文化行政について	<p>② 公立小中学校などの教員志願者が受ける県公立学校教員候補者選考試験の受験者数の動向について伺う</p> <p>③ 部活動について、「学校職員として部活動の実技指導等を行う部活動指導員をはじめとした外部人材の積極的な参画を進めること」となっているが、現状及び課題について伺う</p> <p>那覇市内指定等文化財の保存、整備について 那覇市内の指定等文化財は、国宝、特別名勝、史跡、天然記念物、建造物、美術工芸品、重要無形文化財、保存技術、無形文化財、無形民俗文化財、芸能、工芸技術、空手・古武術、有形、無形と多岐にわたっており、令和元年5月現在でその数は175となっている。ついては、指定等文化財について伺う</p> <p>(1) 指定等文化財の保存、管理、整備にかかる予算措置はどのようになっているか伺う</p> <p>(2) 今後、観光客の増加が見込める識名園は遺跡、記念物として、首里城と同様に世界遺産に登録されているが、防犯、防火等の安全対策及び施設整備はどのようになされているか伺う</p> <p>(3) 天然記念物としての古木指定は首里金城の大アカギのみである。去る大戦の戦火を免れ、地域に古くから残る巨木として樹齢約200年、直径約3メートル、枝ぶり見事な琉球松「古波蔵のヒラマーチ」を指定等文化財に加えるべきと地域から根強い要望があるが見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>下地 敏男 (ニライ)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 環境行政について</p> <p>2 交通行政について</p> <p>3 観光行政について</p> <p>4 教育支援行政について</p>	<p>家庭用ごみ（資源化物古紙について）</p> <p>(1) 本市の資源化物古紙回収の現状・課題について伺う</p> <p>(2) 直営、委託業者の資源化物古紙の搬入実績について伺う</p> <p>(3) リサイクル業者の買取価格等について伺う</p> <p>(4) 古紙買取価格低下の原因を伺う</p> <p>(5) 資源化物古紙の拠点回収の現状について伺う</p> <p>(1) 本市交通基本計画は進んでいるか伺う</p> <p>(2) 本市の交通渋滞の現状について伺う</p> <p>(3) 交通渋滞解消への対策について伺う</p> <p>那覇空港第2滑走路が3月26日供用開始する。本市の観光振興につながる。市長の見解を伺う</p> <p>城間市政の下、重点的に取り組んでいる子どもの貧困対策事業の現状・課題等について伺う。玉城知事は子どもの貧困対策の観点からも中高校生のバス通学無料化に取り組むと述べた。対象となる本市の中高校生数等市当局の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	大山 孝夫 (自民党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 那覇市におけるヘイトスピーチ条例について 2 北朝鮮人権侵害問題啓発週間について 3 末吉公園の活用について	いわゆるヘイトスピーチ条例についての、市長の考え方について (1) 那覇市における取り組みについて (2) 那覇市内小中学校における学校教育の取り組みについて (1) 歴史的文化遺産としての末吉公園の活用について (2) 避難場所としての末吉公園の活用について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	<p>中村圭介 (無所属の会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 文化行政について</p> <p>2 首里城周辺のまちづくりについて</p>	<p>玉陵の整備について以下問う</p> <p>(1) 首里城火災の影響について</p> <p>(2) 保存活用計画の策定について</p> <p>(3) 玉陵周辺の県の管理地を市に移管して一括して整備すべきではないか見解を問う</p> <p>(4) ハブの発見状況と防除について現状と今後の計画について</p> <p>(5) 保存活用のための意見を集約する審議会を作ってはどうか</p> <p>(6) リニューアルされる展示の目的と内容について</p> <p>首里城再建に向けた本市の取り組みについて 首里城の管理者と周辺地域の住民、関係団体等で連携を図り、首里城周辺観光に関する諸課題について協議し、活動していく協働の枠組みが必要だと考える。首里城周辺のまちづくりについて「那覇クルーズ促進連絡協議会」を参考にした組織を作ってはどうか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和元年12月6日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	平良 識子 (ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	国宝玉陵の保存及び管理について	玉陵は、2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録され、2018年に沖縄県では2件目となる国宝に指定された 以下、問う (1) 玉陵を12月1日に視察した際、東室の入口観音扉の鍵が壊れて機能していないことが判った。現状はどうなっているのか (2) 防犯及び文化財保存の管理体制はどうなっているのか (3) 中の状況を最後に確認したのはいつか (4) 現況の見解及び今後の対応について (5) 玉陵碑の現状と、今後の保存のあり方について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長